

ヒトデとシダムシ(甲殻類)の共進化に関する遺伝子解析

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2011-08-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大橋, 舞, 岡山, 千春, 鳥居, 保, 森夢, 里香, 竹内, 信宏, 飯田, ちひろ, 杉岡, 康宏, 橋本, 輝己 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10098/3747

ヒトデとシダムシ(甲殻類)の共進化に関する遺伝子解析

大橋舞 , 岡山千春 , 鳥居保 , 森夢里香 , 竹内信宏 , 飯田ちひろ , 杉岡康宏橋本輝己(顧問)

福井県立鯖江高等学校 生物クラブ

「シダムシ」はヒトデの体腔内寄生虫である．その成体は甲殻類の特徴に乏しく，かろうじて幼生形態によって甲殻綱蔓脚亜綱に分類されている．世界ではこれまでに約30種のシダムシが報告されており，そのすべてがヒトデの体腔内から発見されている．日本では以前から3種類のシダムシが知られていた．シダムシは完全な内部寄生虫であり，その成体はヒトデの体腔内にしか生息しないことから，ヒトデとシダムシがどのように種分化してきたのかは，専門家ならずとも，大変興味をそそられる問題である．21世紀になってから，日本において新種シダムシの発見が相次いでおり，現在6種のシダムシが入手可能である．そこで，遺伝子解析によってヒトデとシダムシそれぞれの系統樹を作成し，これを比較することにより，宿主と寄生虫に共進化があったのか否かを検証することにした．

なお、本研究はJSTの中高生の科学部活動振興事業の支援を受けており，未だ遺伝子解析の環境を整えているところである．